

# 八王子シネマフェスティバル

—地域のひとが集うイベントで住み続けたいまちへ—

Hachioji Cinema Festival

—Events for local people to create a town they want to continue to live in—

創価大学法学部法律学科 和足ゼミ1班  
照井咲希 大森伊純 角城勤聖 鈴木勇翔 田村彩香 宮部慶汰  
指導教員 和足憲明  
創価大学法学部法律学科

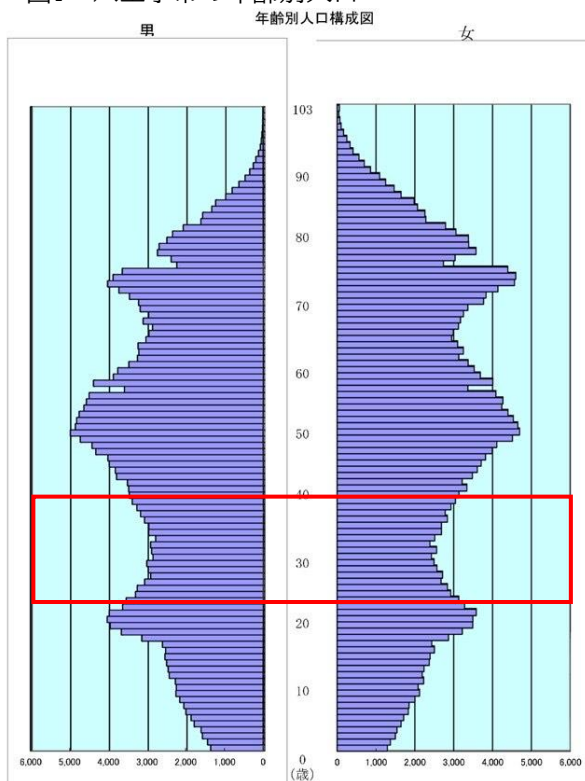
日本語アブストラクト：市民は中心市街地の課題は「映画館」がないことであると認識している。そこで、京王八王子駅周辺において映画のパブリックビューイングを開催しその要望に応えるとともに、人が集まる機会を創出し中心市街地の活性化を図る。

キーワード：地域活性化, 若者, ファミリー層, 住み続けたいまちづくり

## 1. 現状分析

(1) 八王子市の人口と中心市街地の現状  
・若年層や家族世帯（20代前半～30代後半）の人口は、他の年齢層に比べて少なく、若年層・ファミリー層を増やす必要がある（図1参照）。

図1 八王子市の年齢別人口



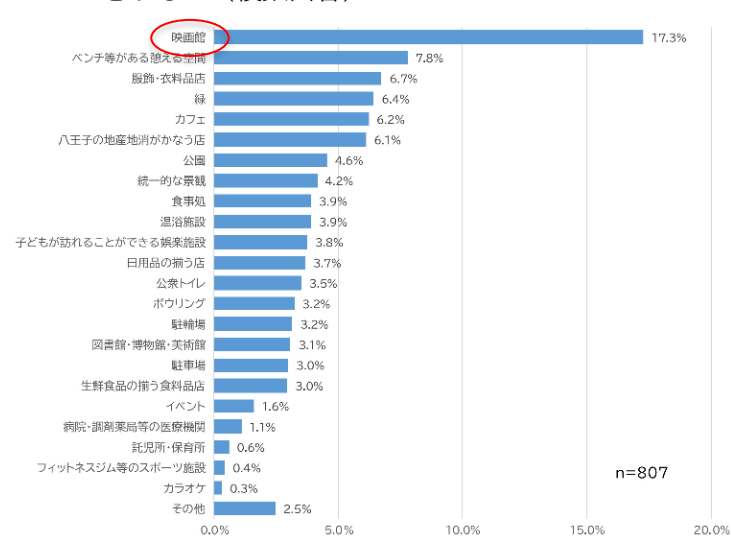
出典：八王子市（2024a）

・八王子市の中心市街地については、次のような特徴がある。①居住人口は増加傾向にある。②大型店が撤退するとともに、甲州街道を中心に空き店舗が

存在する。③来街者の滞留が活発ではない。④歩行者数は減少傾向である。

中心市街地に関する市民アンケート調査の結果、次のような点が課題となっている。①「JR八王子駅」・「京王八王子駅」周辺での利用率は高い一方、「甲州街道周辺」は少ない。②「映画館」や「ベンチ等がある憩いの空間」が求められている。③来街交通手段は「自家用車」が多い傾向である。④日常生活に必要な買い物などの「普段づかい」となっている。とりわけ、映画館が不足しているという意見が多い（図2参照）。

図2 中央地域の市民が中心市街地に不足していると思うもの（複数回答）



出典：八王子市（2024b）

(2) (1)の現状から、若者や家族世帯が住み続けたいと思うまちづくりをしていく必要がある。

①八王子市は学生が多く住んでいるという特徴をもつ街である。しかし、卒業後も八王子市に住み続ける学生は少なく、20代から30代の人口が少ない。その原因として、八王子駅周辺に映画館などの若者向けの娯楽施設が少ないことが挙げられる。そこで、若者や家族世帯向けのイベントを行うことで、若者が住み続けたいと思う街を目指すことができるのではないかと考える。

②また、八王子市は八王子駅周辺の中心市街地の活性化を促進するという課題を抱えている。この課題を解決するために、まずは中心市街地に人が集まるきっかけとなる機会を提供する必要がある。人が集まることで商店街のお店の顧客数が増え、また結果として民間事業者も中心市街地に出店し、さらに人が集まる好循環をつくることができると予想する。

## 2. 課題抽出

・20歳前後の人口が多いのに対し20代後半から人口が大きく減少することから、学生が多く住んでいるものの、卒業後に八王子に住み続ける人が少ないことが推測される。

→学生が卒業後も住み続けたいと感じ、また子ども連れ家庭など家族世帯が暮らしたいと感じるまちづくりをする必要がある。

・八王子市の中心市街地の活性化を促進するために、まずは中心市街地に人が集まる機会をつくることが重要である。

## 3. 政策提案

そこで、「八王子シネマフェスティバル」というイベントを開催し、次のような事業を実施することで、上記2つの課題を解決する。

### ①Who

・学生は協力業者やフェスティバルに関する宣伝・情報発信、フェスティバルの運営を行う。  
・来場者は地域住民などを対象にし、中でも昼の部では子ども連れの家族、夜の部では若者をターゲットに絞る。

### ②What

・地域の若者や家族世帯が八王子市に住み続けたいと思えるよう、若者や親子向けのイベントを実施する。  
・八王子駅周辺には映画館がないため、駅周辺で映画を見ることができる機会を提供する。  
・子どもがいる家庭では、子どもが泣いてしまったり長時間じっとしていられなかったりなどリラックスして映画を見ることが難しいため、周囲の目を気にせず親子一緒に映画を楽しむことができる環境をつくる。  
・近年様々な地域で行われている野外映画のイベントを行うことで、若者に街を好きになってもらう。  
・中心市街地において実施する「八王子シネマフェスティバル」は、中心市街地に人が集まるきっかけを提供する。その結果、中心市街地の活性化につながる。

### ③How

まず、著作権問題については、次の点から問題はない。著作権法38条3項に「営利を目的とせず、聴衆から料金を受け取らない場合には、公に放映しても良い」と規定されており、非営利目的であれば、権利元の許諾を得たうえでパブリックビューイングを無料実施することができる。

次に、具体的な制度設計は、以下のとおりである。

- ・実施場所は東京たま未来メッセ、えきまえテラス(京王八王子駅周辺)とする。
- ・顧客ターゲットは、家族世帯の親、子ども、体験を通じた盛り上がりを求める若年層と設定する。
- ・昼の部では子ども連れの家族をターゲットに、東京たま未来メッセの展示室を利用し、親子が気兼ねなく楽しむことができ、また安全性に考慮した映画上映を行う。
- ・夜の部では若者をターゲットにえきまえテラスでの野外上映を行う。
- ・具体的に必要な物品は、野外上映用のスクリーンと広報素材である。
- ・野外上映用のスクリーンはレンタルのものを使用する。レンタル料は5万円程度であり、八王子市全体の予算規模を考慮すると、十分に実現可能である。
- ・広報素材としては、「広報はちおうじ」への掲載、八王子市のSNS活用を想定している。
- ・学生の役割は、①顧客としての参加、②フェスティバルに関する情報発信、③フェスティバルの運営である。

### <参考文献>

八王子市 (2024a) 「八王子市年齢別人口 (令和6年9月末日)」 [https://www.city.hachioji.tokyo.jp/hachiouji/jinko/003/p033792\\_d/fil/0609nenreibetu.pdf](https://www.city.hachioji.tokyo.jp/hachiouji/jinko/003/p033792_d/fil/0609nenreibetu.pdf)

八王子市 (2024b) 「八王子市中心市街地活性化基本計画」 [https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/sangyo/003/hatioujichuusinn/p031516\\_d/fil/chukatsukeikaku\\_2\\_240820.pdf](https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/sangyo/003/hatioujichuusinn/p031516_d/fil/chukatsukeikaku_2_240820.pdf)